

中学校 第9学年 国語科学習指導案

単元名：観察・分析して論じよう「説得力のある批評文を書こう」

指導者 呉市立呉中央中学校 青山 美加

- 1 日時 平成25年11月22日（金）1校時
- 2 場所 呉中央中学校 7年1組教室
- 3 学年 呉中央中学校 第9学年1組（生徒数 40名）
- 4 単元名 観察・分析して論じよう「売り上げアップ大作戦～説得力のある批評文を書こう～」  
（東京書籍）

5 単元について

（1）単元観

本単元は、主として中学校学習指導要領国語科第3学年の指導事項、「B 書くこと」の次の内容を受けて設定されている。

「B 書くこと」

- （1）イ 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。
- （1）エ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること。

本単元でつけたい力は、論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書く力と、それらを交流し、互いの良さを自らの表現に役立てる力である。

本教材は、対象を観察・分析、比較し判断を下す手法を学び、それを批評文という形で表すものである。批評とは、「対象とする事柄について、そのもののよさや特性、価値などについて、論じたり、評価したりすること」（「学習指導要領解説」）である。この批評という行為を、私たちは日常生活の中でごく普通に行っている。しかし、この批評を書き手の主観で行うのではなく、対象を客観的、分析的に見つめ、判断や評価の根拠を明確に示して書き、また、それらを交流することが、説得力のある文章を書く力につながると考え、本単元を設定した。

（2）生徒観

本学級の生徒は、第7学年の時に「根拠を示して書こう」で、自分の意見を相手に受け入れてもらえるように明確な根拠をあげることが、「分かりやすく書こう」で、伝えたい事実や事柄を分かりやすく説明する方法を学習している。第8学年では「意見を書こう」で、自分の意見のもととなる根拠を明らかにし、文章の内容が相手に伝わるように論理の展開を工夫することを学習している。

しかし、平成24年度「基礎・基本」定着学力調査の結果をみると、「書くこと」の「記述する内容の整理」の平均通過率は76.0%（県90.3%）、平成25年度全国学力・学習状況調査B問題2三「文章の内容について、根拠を明確にして書く」の平均通過率は79.7%（国65.7%）であった。誤答の多くが、与えられた情報の中から自分に必要な情報を取り出すことができず、自分の考えに説得力を持たせるために必要な根拠となる情報を引用することができていなかった。以上の結果から、自分の考えをより確かにするために対象を批評する力が不足していると考えられる。

（3）指導観

①単元を貫く言語活動とその特徴

本単元の学習の最後に「売り上げアップ大作戦～説得力のある批評文を書こう」と題して言語活動例（2）ア「関心のある事柄について批評する文章を書くこと。」を設定する。この活動は、観察・分析したことを批評文という形で表す。その際、生徒に意欲的に取り組ませるために、「チョコレート会社の社員として新商品を売り出そう」などの具体的な場面設定をしていきたい。その活動を通して、自らの批評が客観的に妥当かどうか、説得力を持たせるために適切な情報を引用できているかなど、その批評文を交流することで、より説得力を持たせるための工夫をお互いに気づかせていきたい。

②指導観

指導に当たっては、説得力のある批評文を書かせるために、批評の手順を理解させたい。ま

ず、批評文を書く対象を観察・分析・比較させる。対象を観察・分析・比較して自分なりの判断を下すことで、ただ単なる好き嫌いの批評ではなく、文章に説得力をもたせることができる。また、より説得力をもたせるためには、資料を効果的に引用することも重要である。この批評の手順は「書くこと」についての既習の学習と同様に、複数の候補を検討し、そのうちの一つを選択して、その根拠を述べるというもので、これまで習得した知識・技能を活用させることができる。自分なりの観点をもって批評することは、今後の日常生活の中でもさまざまな場面で行われるものである。社会に出ても役立つ学習であることを意識させるためにも、チョコレートの販売促進用のポスターを企画するという設定で、主体的に学習に取り組ませていきたい。

## 6 単元の目標

- 批評の対象について自分の立場や意見を明確にして批評する文章を書こうとする意欲をもっている。(国語への関心・意欲・態度)
- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある批評文を書くことができる。(B書くこと(1)イ)
- 書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深めることができる。(B書くこと(1)エ)
- 和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、適切な語句を使っている。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(イ))

## 7 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・批評の対象について自分の立場や意見を明確にして、批評する文章を書こうとしている。	・結論を明確にして、説得力のある批評文を書いている。 ・批評文を読み合い、文章の書き方や根拠の取り上げ方について評価し、自分のものの見方や考え方を深めている。	・批評文に説得力をもたせたり読者をひきつけたりするための言葉を、適切に使っている。

## 8 指導計画(全6時間)

次	学習内容(時数)	関	書	言	評価規準	評価方法
一次	・説得力のある批評文を書くという単元の見通しと意欲をもつ。 ・「チョコレート」のポスターの批評文を書く。① ・批評文を書く方法を知る。(1)	○			・学習活動の見通しを持ち、自分の立場や意見を明確にして説得力のある意見文を書こうとしている。	ノート
二次	・「マイボトル」についての複数のポスターを、観察・分析・比較をして批評文を書く。(2)	○			・説得力を持たせるために、判断の根拠となる資料を適切に引用して、批評文を書いている。 ・批評文を評価し合うことで、説得力を持たせるために効果的な表現効果に気づき、自分の批評文に生かそうとしている。	発言 ノート
	・「チョコレート」のポスターの批評文を書く。②(2) 【本時1/2】	◎		○	・自分の立場を明確にし、説得力を持たせるために必要な情報を資料から引用して批評文を書いている。 ・説得力をもたせるために効果的な言葉を使って批評文を書いている。	観察 ワークシート

三 次	・批評文を交流するとともに、単元全体の学習を振り返る。(1)	○	・説得力を持たせるための文章の書き方や引用の仕方について、誰の作品のどういう点をこれから取り入れていきたいか話し合っている。	観察 発言
--------	--------------------------------	---	--	----------

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

- ・販売促進のためのポスターにふさわしい説得力のある批評文を書くことができる。

### (2) 本時の学習展開 (4 / 6 時間)

学習活動	指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断される生徒への手立て	評価規準 (評価方法)
1 本時の目標を確認する。		
○前時の振り返りをする。  ○本時のめあてを知る。	・前時までに学習した内容を想起し、説得力のある批評文に必要なポイント（結論が明確、具体的な根拠を引用、選ばなかった理由がある）や、書く手順を確認する。	
自分の意見(結論)と根拠を明らかにして説得力のある意見文を書こう。		
2 批評文を書く。		
○根拠として資料のどの部分を引用するかを考える。 ○選んだ理由だけでなく、選ばなかった理由も考える。  ○構成を工夫する。  ○途中まで書いた批評文をグループ内で交流する。	・観察・分析・比較したことを基にして、そのポスターを選んだ理由がよくわかるように批評文を書かせる。また、根拠に説得力をもたせるために、資料を効果的に引用させる。 ◆ 教科書 p 144 の完成例を参考にさせる。 ◆ 批評文の型を示したヒントカードを用意し、( ) の中に引用文などを入れさせる。 ・グループ内で説得力を持たせるために工夫しているところや自分の批評文に取り入れたいところを話し合わせる。 ・グループ内で話し合ったことを発表させる。 ◆ 説得力のある批評文を書くために、次の点を確認させる。 ①販売促進のために、どういう立場でどのポスターを選んでいるか。 ②自分の根拠は、販売促進につながるか。 ③引用した部分は、自分の根拠を補強するものになっているか。 ④選ばなかった理由は書いてあるか。	

<p>○グループで交流したことを生かして、批評文を書く。</p>	<p>⑤批評文に書かれた内容は誰もが納得できるものか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・批評文を完成させる。</li> <li>◆ 説得力のある批評文に必要なポイント（明確な結論や引用）が書かれていない生徒には、ポイントが確認できるヒントカードを提示する。</li> </ul>	<p>結論や根拠が、明確に示された批評文を書いている。〔書く能力〕</p> <p>B「結論や、資料を引用した具体的な根拠のある批評文を書いている。」</p> <p>A「誰もが納得する具体的な根拠を挙げ、適宜資料を引用したり、他のポスターにも言及したりしながら、表現を工夫した批評文を書いている。」</p> <p>(観察)</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>結論</p>	<p>自分の主張</p> <p>【生徒の作品例－Bのポスターを選んだ場合】</p> <p>私は、チョコレートの新商品を売り出すためのポスターとして、Bが最も優れていると思う。</p> <p>Bのポスターでは、中央にチョコレートの写真がある。これによってチョコレートのポスターであることがすぐにわかる。また、チョコレートは宝石に見立てられており、宝石箱のような入れ物に入っている。これによって、高級感が印象づけられ、絵の上にある「黒い宝石、召し上がれ。」というキャッチコピーとうまく合っている。<u>「Z新聞」2010年(平成22年)五月八日朝刊の記事「チョコレートの現在」によれば、最近「手頃な価格で『高級感』を楽しめるチョコレート」の人気の高まっており、「仕事の後で『自分へのご褒美』として」買う人がいるそうだ。</u>Bのポスターは、絵と文字の両方によって、私たちが求める高級感を目の前に示してくれている。</p> <p>これに対し、Aのポスターはボリビアの人がカカオを持っているだけで、チョコレートのポスターだとはわかりにくいし、「公正」についてもこれだけではわかりにくい。Cのポスターも、男の子が中心に書かれており、チョコレートのポスターだとは一見してわかりにくい。「カカオ70%」という言葉も、カカオに詳しくない人にはそれが「健康」のためになることを伝えるのは難しいだろう。</p> <p>新商品のチョコレートを売り出すためのものであるならば、高級感を求める現代人の傾向をとらえたBのポスターこそ、最も効果的ではないだろうか。</p>	<p>具体的な根拠（引用で説得力と客観性を持たせる）</p> <p>他のポスターを選ばなかった理由</p>
<p>3 本時の学習を振り返るとともに、次時の学習内容の確認をする。</p>		
<p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>○次時のめあてをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結論や根拠が明快に示され、資料からの引用があるかなどを自己評価させる。</li> <li>・より説得力のある批評文にするための方法を話し合うことを予告する。</li> </ul>	